

天神川水系流域治水プロジェクト

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【河道掘削及び堰改築】

国交省

1. 事業の必要性及び概要

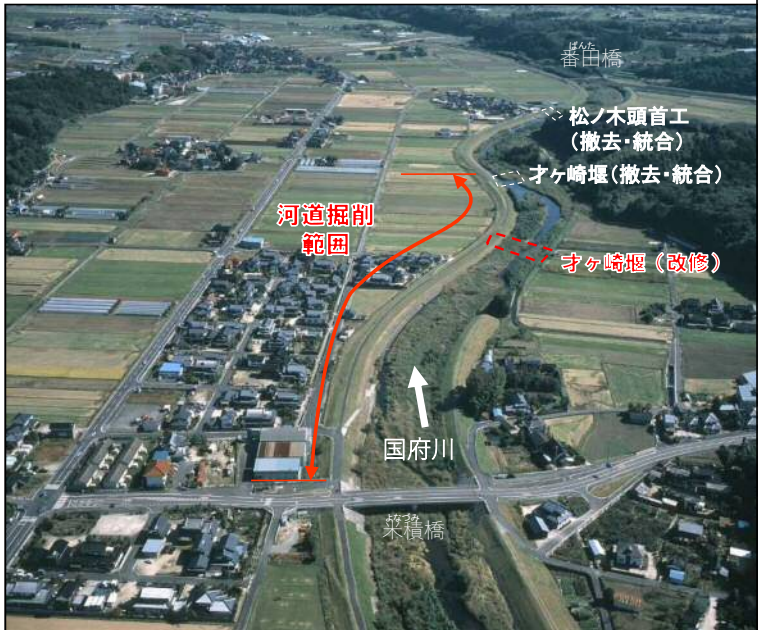
くらしし よなづみ しもふくだ

倉吉市米積・下福田地先では、昭和34年9月に発生した戦後最大の洪水に対し、流下能力が不足しています。

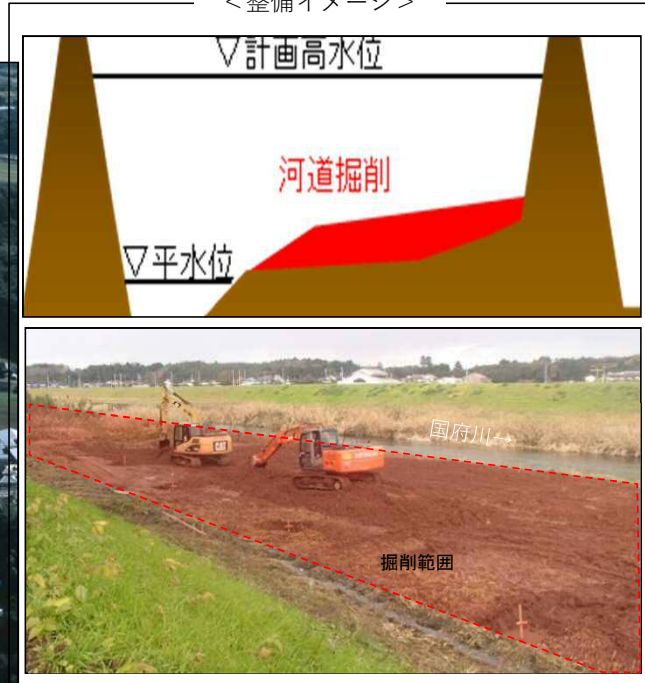
このため、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、「国府川の安全な川づくり事業」として、河道掘削及び堰の改修等を集中的に推進し、地域の安全性の向上を図ります。

3. 令和2年度 予定事業内容

河道掘削及びオケ崎堰の改修等を実施します。

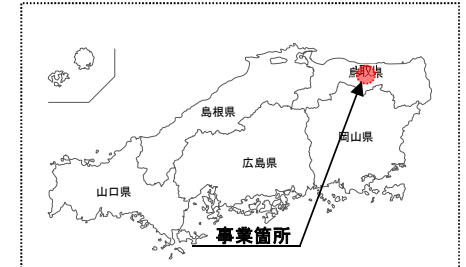


< 整備イメージ >



2. 事業箇所

鳥取県倉吉市米積・下福田地先



< 工事状況 >



4. 期待される整備効果

河道掘削及び堰の改修を実施することで、事業完了後に河川整備計画の目標である昭和34年9月洪水（戦後最大の洪水）が再び発生した場合において、周辺地域の浸水被害が防止されます。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【河道掘削及び堰改築】

国交省



着手前状況（米積地先：H29.10）



起伏ゲード



取水樋門



現在状況（米積地先：R3.1）

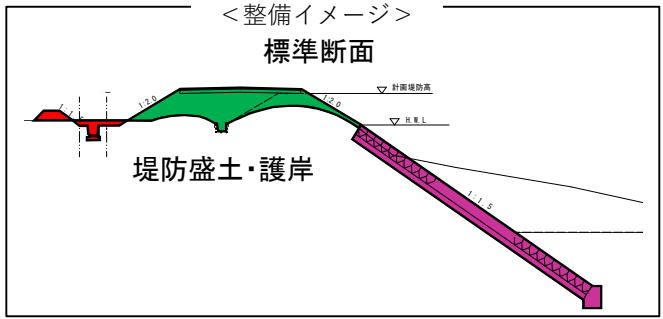
■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【築堤】

1. 事業の必要性及び概要

三朝町牧地先では、昭和34年9月に発生した戦後最大の洪水に対し、流下能力が不足しています。
浸水区域内には兵庫県と鳥取県湯梨浜町を結ぶ国道179号が位置するなど氾濫発生時には交通途絶の恐れがあるため、別区間の河道掘削による発生土の有効活用により当該箇所の築堤整備の進捗並びにコスト縮減を図ります。

3. 令和2年度 予定事業内容

築堤を実施します。



2. 事業箇所



4. 期待される整備効果

築堤を実施することで、事業完了後に河川整備計画の目標である昭和34年9月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合において、周辺地域の浸水被害が防止されるとともに掘削土の有効活用を図ります。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【砂防堰堤】

■ 事業箇所

とうはくぐん みささちょう にしお

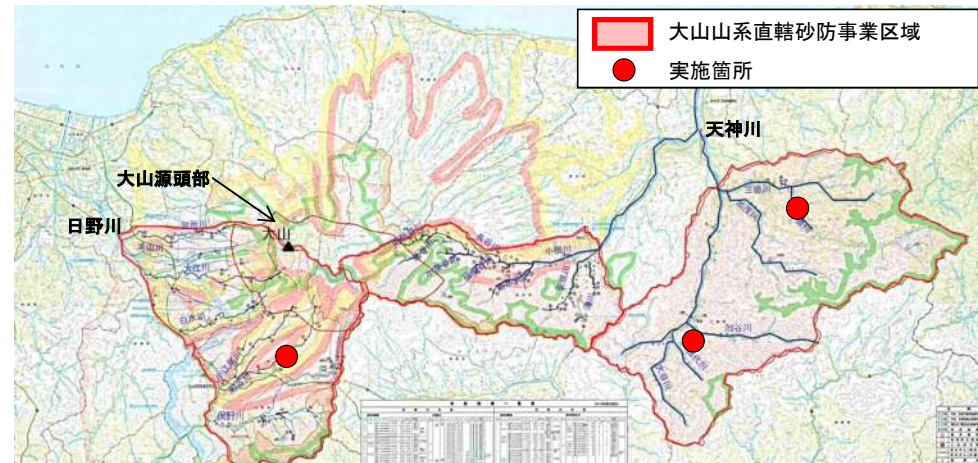
鳥取県東伯郡三朝町西尾地先ほか

■ 期待される整備効果

砂防堰堤等の整備により、土砂や流木を捕捉し、土石流による直接の土砂災害が防がれる。

また、天神川下流の市街地において、土砂流出に伴う河床上昇による洪水氾濫の防止・軽減を図る。

■ 2021(令和3)年度事業実施箇所



▲小泉2号砂防堰堤の土砂・流木補足状況
(2011(H23)年9月出水時)



▲吉田砂防堰堤
(2019(R1)年9月完成)

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【河川整備：由良川・北条川】 鳥取県

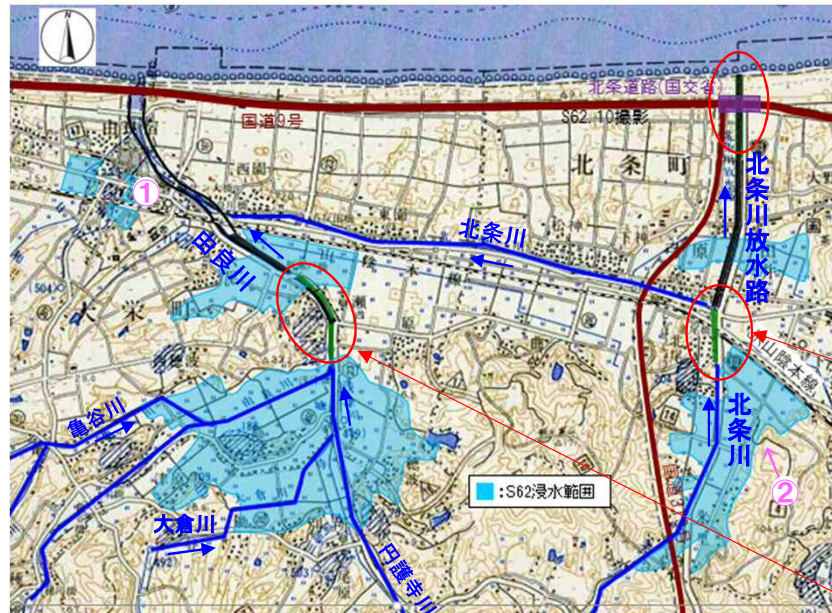
～急流河川に備え、未来の営みを守るプロジェクト「清流 天神川」流域治水対策の推進～

1. 事業の必要性及び概要

由良川及び支川北条川では、昭和62年10月台風19号豪雨により氾濫し、床上浸水80戸、床下浸水270戸など北栄町の平地部のほとんどが浸水するような甚大な被害が発生した。このため、昭和63年に河川改修事業に着手し、緊急対策特定区間として北条川放水路を整備するなど、床上・床下浸水被害の軽減を図ってきたところであり、引き続き、由良川・北条川の整備を行っていく。

3. 予定事業内容

天神川の氾濫水の排除にも資するよう、流下能力の向上を図り、河道拡幅・河道掘削・護岸整備や河口閉塞対策を実施する。

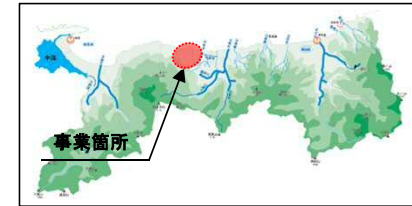


4. 期待される整備効果

昭和62年10月台風19号規模の洪水に対し、家屋浸水被害が軽減される。

2. 事業箇所

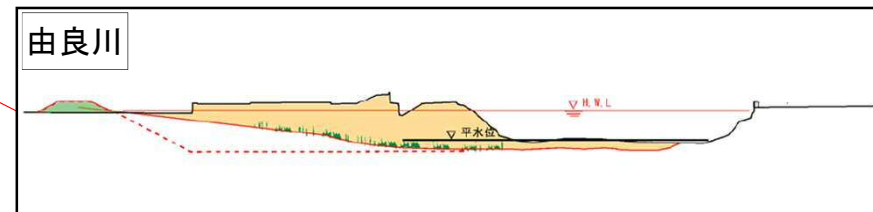
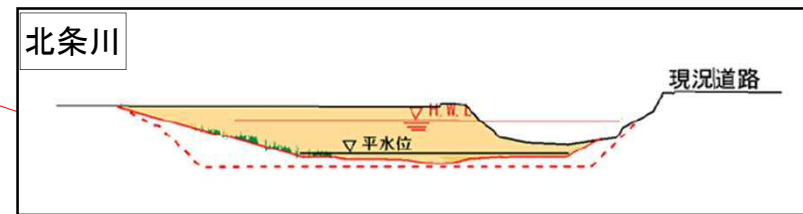
事業実施期間
令和21年度完了を予定



①昭和62年台風19号



②昭和62年台風19号



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【河川整備：東郷池】

鳥取県

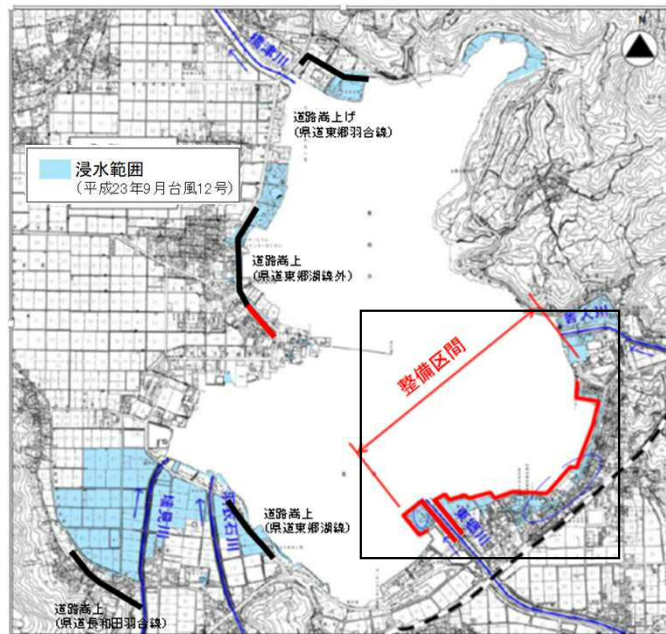
～急流河川に備え、未来の営みを守るプロジェクト・「清流 天神川」流域治水対策の推進～

1. 事業の必要性及び概要

これまで、東郷池下流の橋津川では河道の拡幅・掘削等を実施した。また、上流の東郷川支川の宇坪谷川では東郷ダムを建設するなど治水対策を行ってきたが、平成23年9月の台風12号豪雨により氾濫し、東郷池周辺で床上8戸、床下26戸の建物被害を伴う浸水が発生した。このため、築堤護岸の整備や周辺道路の嵩上げをあわせて行っていく。

3. 予定事業内容

天神川の氾濫水の排除にも資するよう、町の内水対策（排水ポンプ場整備）と連携しながら築堤護岸を整備する。

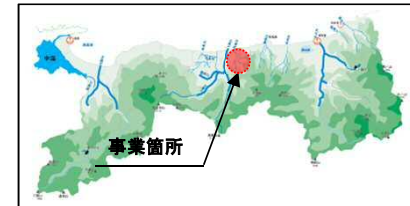


4. 期待される整備効果

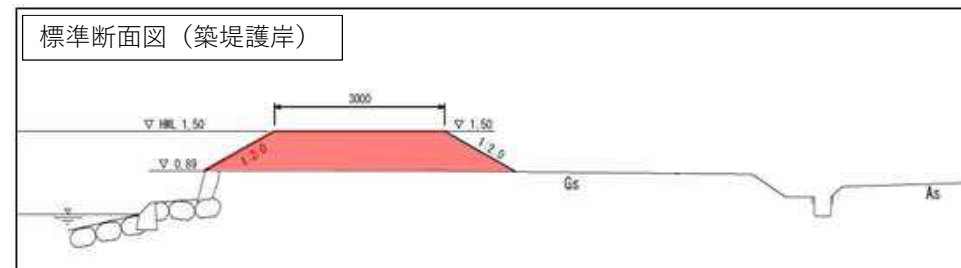
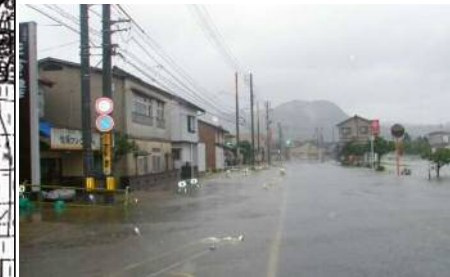
平成23年9月台風12号と同規模の洪水から家屋浸水被害が軽減される。

2. 事業箇所

事業実施期間
令和6年度完了を予定



H23.9.3洪水被災写真



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【古川沢排水ポンプ場の整備】

1. 事業の必要性及び概要

古川沢地内を流れる「古川沢地区排水路」は流下能力が十分でなく、豪雨時には地域一帯が冠水状況となり、市道が冠水することによる住民の孤立や住宅の床上・床下浸水被害も発生しています。
このことから、浸水被害軽減を目的として排水ポンプ施設を整備を進めています。

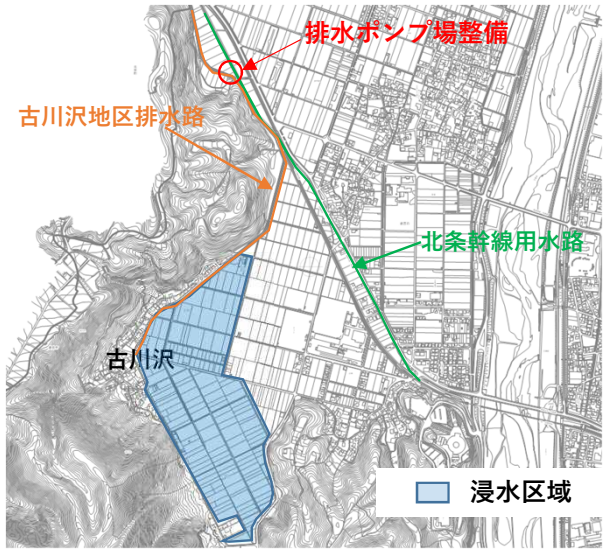
2. 事業箇所

倉吉市古川沢地内



3. 事業概要

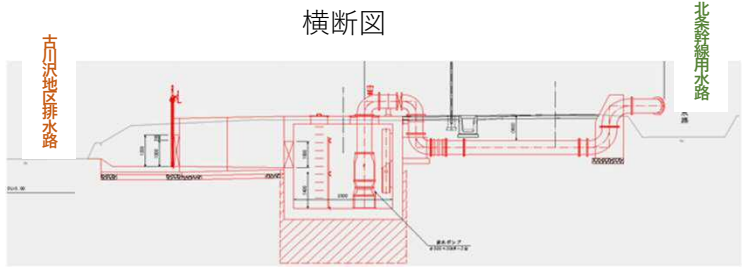
浸水区域下流部に排水ポンプ場を整備します。



道路冠水状況 (H30.9 台風24号)

4. 期待される整備効果

浸水区域から流下する雨水を速やかに排除し、浸水被害の軽減を図ります。



ポンプ出力：30kw×2台
吐出量：50m³/min

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【上井雨水排水ポンプ場の耐水化】



供用開始 平成7年

本ポンプ場は上井・西郷地区のJR山陰本線の南側260haの地域からの雨水を排除し、市街の浸水防除するために作られた。

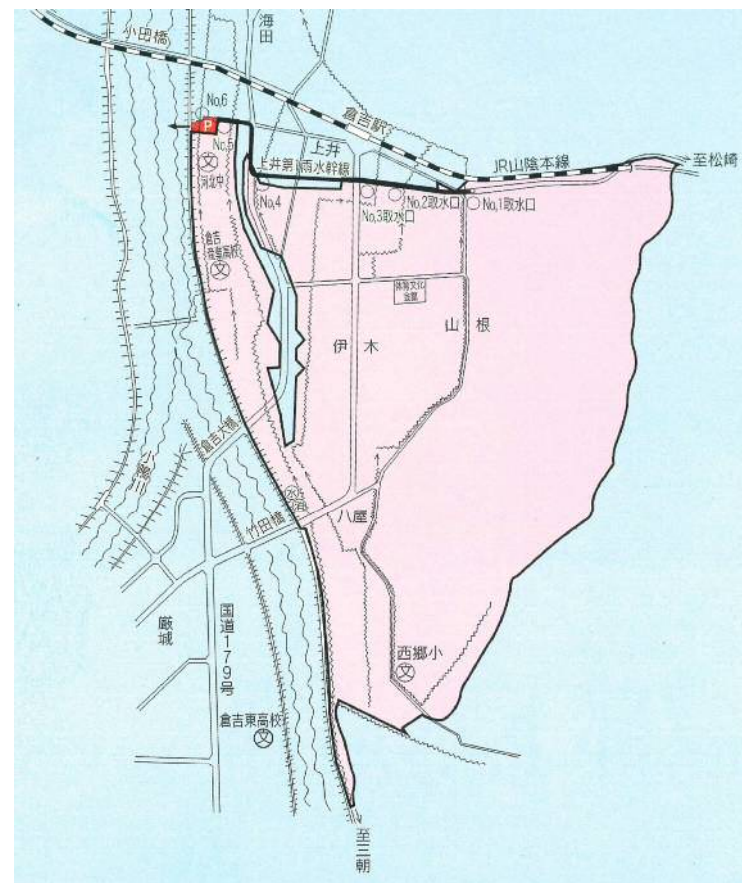
10年確率降雨（52mm/h）に対応した能力を有する施設です。

- ・ポンプ設備
口径1500mm、ポンプ3台
排水量 966.9m³/分(16.1m³/s)

（目的・事業概要）

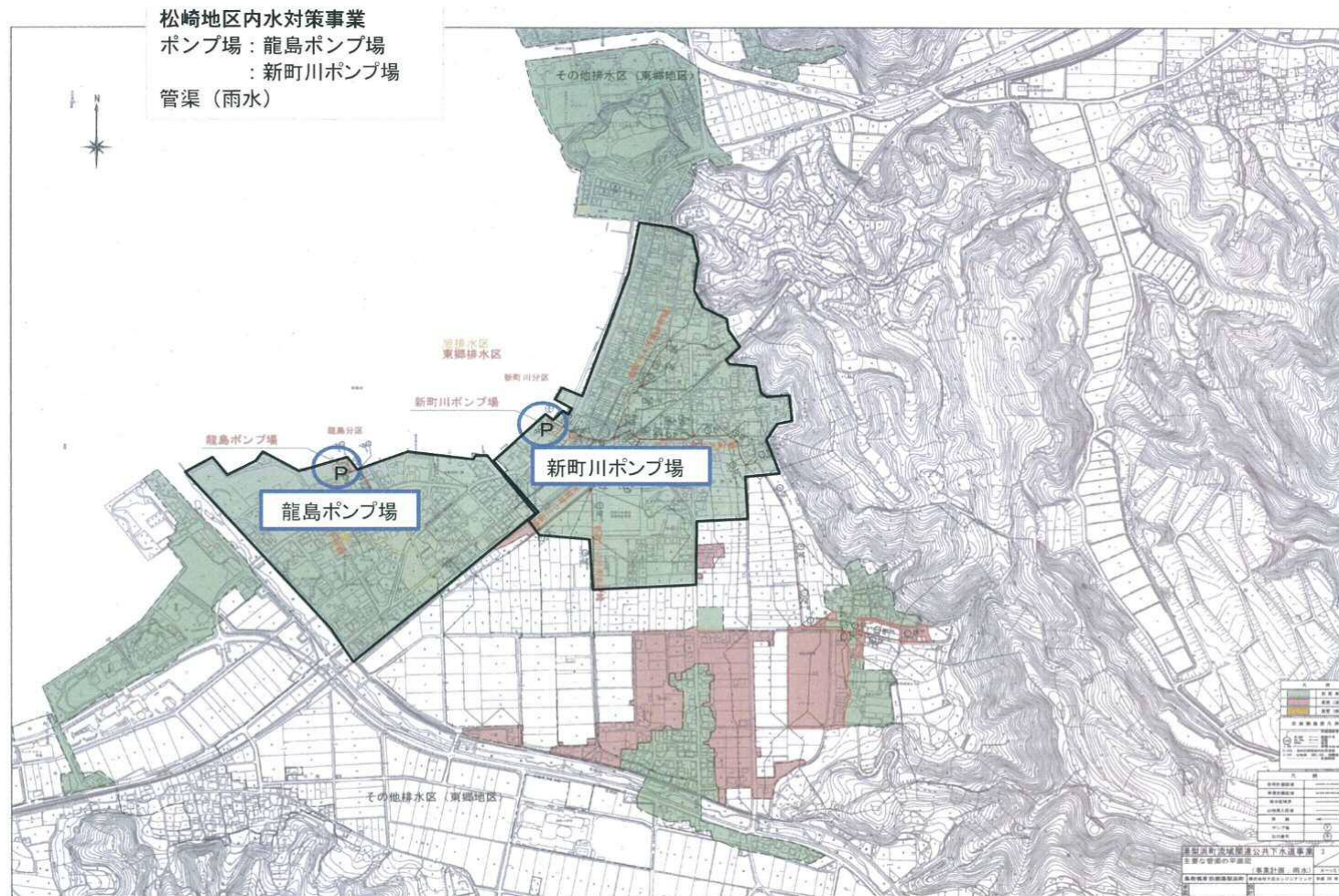
天神川の氾濫等の災害時に雨水排水ポンプ場の機能を確保し、本施設の被害による周辺への影響を最小限にするため、耐水化計画を策定します。

耐水化計画に基づき浸水防止設備の整備を行います。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

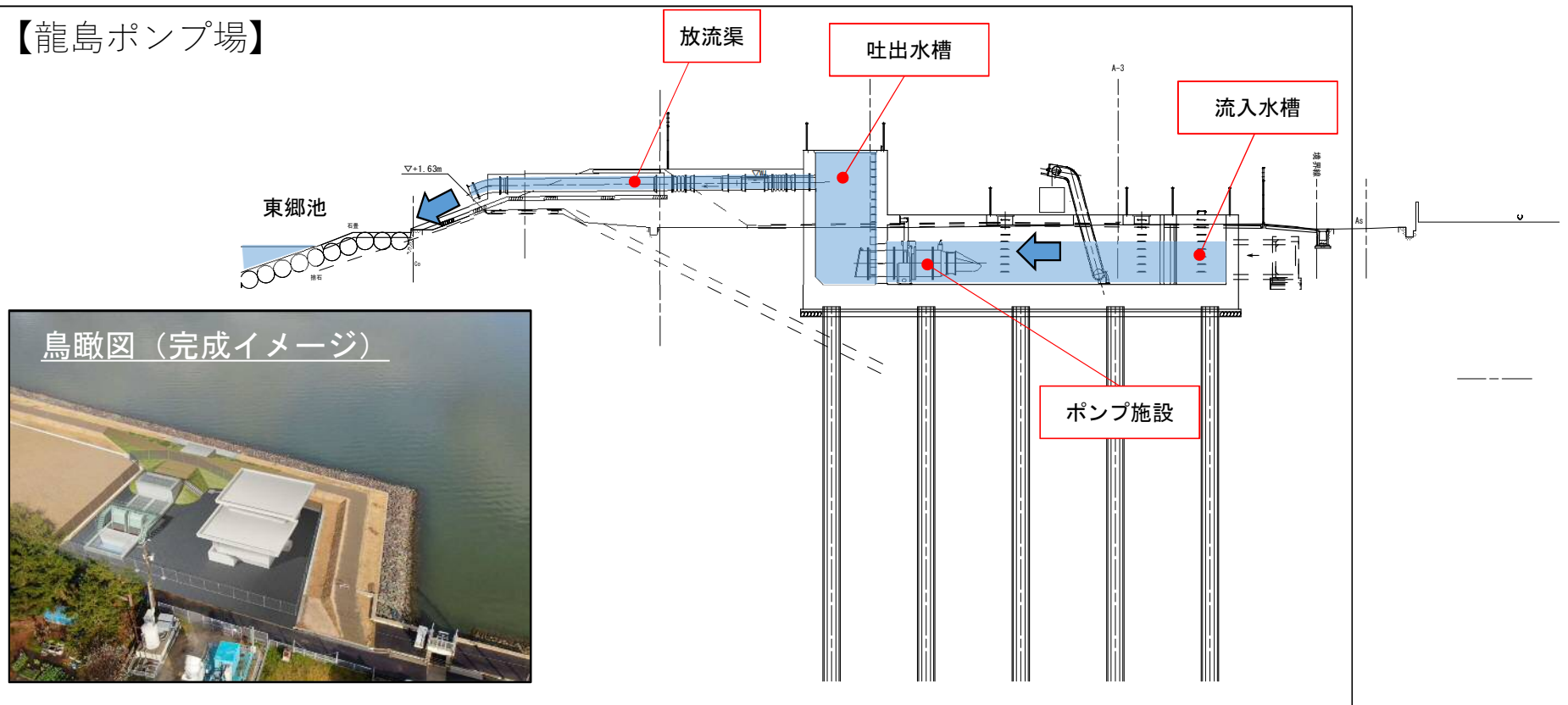
排水ポンプ場整備（湯梨浜町事業）



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

排水ポンプ場整備（湯梨浜町事業）

【龍島ポンプ場】



【新町川ポンプ場】

詳細な設置位置について検討中

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【森林の整備・保全】

森林整備センター

■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・ 水源林造成事業は、水源かん養上重要な奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・ 無立木地における植栽や、間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 天神川流域における水源林造成事業地は、約180箇所（森林管理面積約4千ha）あり、森林整備を計画的に実施し、健全な林分を造成することにより流域治水に貢献します。

水源林の整備



針交混交林

育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前

間伐実施後

天神川水系流域治水プロジェクト

②被害対象を減少させるための対策

■ 被害対象を減少させるための対策【現存する霞堤の保全・有効活用】

国交省

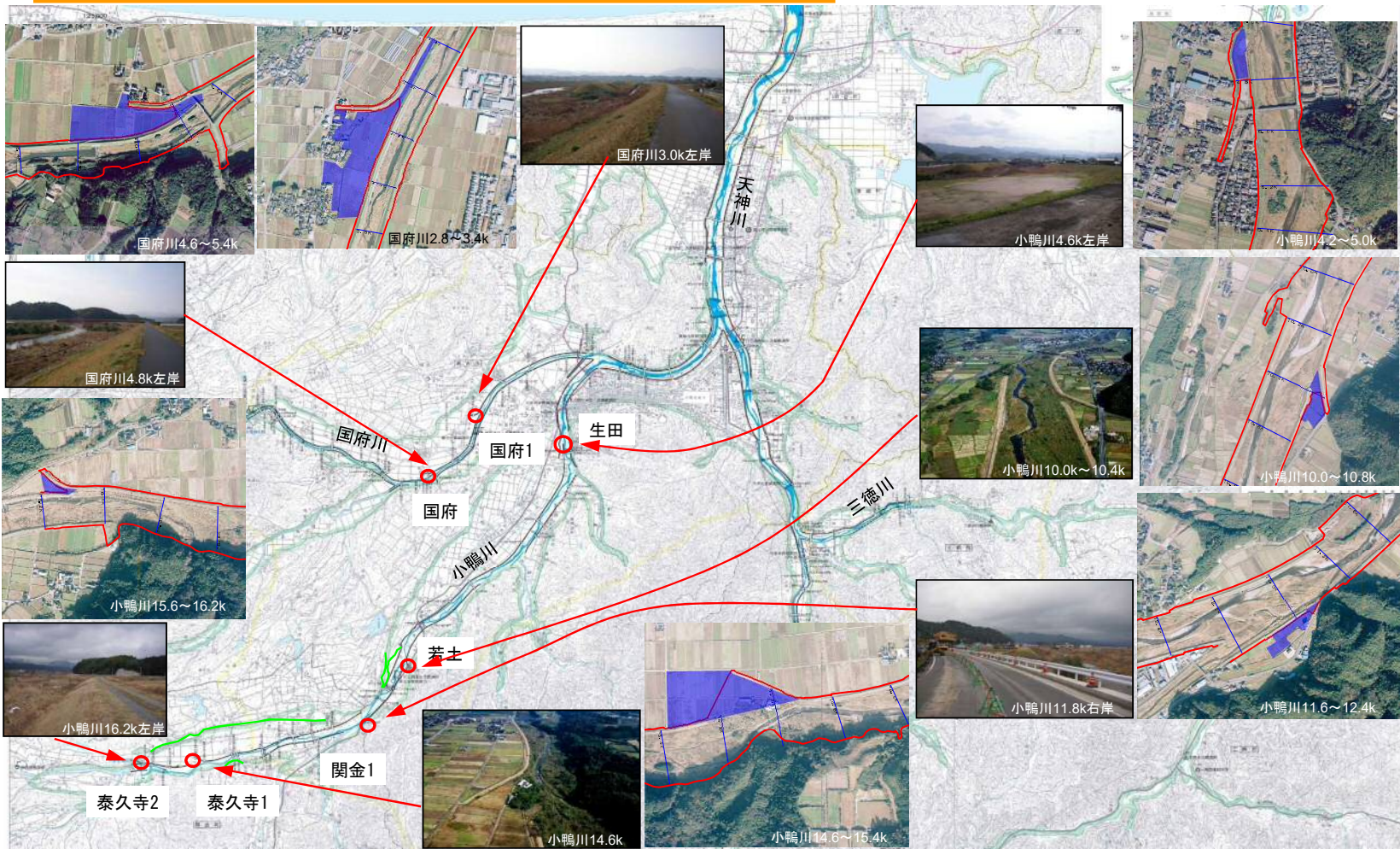
現況

・小鴨川、国府川に7箇所存在し、浸水域は主に田畑として利用
 ・宅地は経験的に田面より高く、計画高水位でも浸水しない高さ



方針

現存する霞堤については、土地利用状況を踏まえて極力保全



霞堤箇所 7箇所

※航空写真中の - は河川区域

- 霞堤箇所
- 河岸段丘が明確に分かる場所
- 計画高水位を想定した浸水範囲

天神川水系流域治水プロジェクト

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【まるごとまちごとハザードマップの実施】

「まるごとまちごとハザードマップ」とは、住民自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である“まちなか”に洪水・内水・高潮の浸水深や、避難行動（避難所及び避難誘導に関する情報）を標示する取り組みです。

“まちなか”に表示することにより、日常時から水防災への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等を図り、発災時には命を守るための住民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目指すため天神川流域においても設置を図っていきます。

- 【設置場所】
- ①倉吉河川国道事務所 玄関
 - 倉吉河川国道事務所 階段
 - 倉吉河川国道事務所 外壁
 - ②天神川出張所 外壁



まるごとまちごとハザードマップ設置状況

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【まるごとまちごとハザードマップの実施】



「まるごとまちごとハザードマップ」とは
 千年に一度起こるかどうかの猛烈な大雨で予想される最大浸水の深さを「**まちなか**」に表示して、地域の洪水の危険性を知ることによって防災への意識を高めます。

No.	施設名	所在地	想定浸水深
1	倉吉市上北条公民館	新田	3.0m
2	倉吉市上井公民館	大平町	3.3m
3	倉吉市西郷公民館	下余戸	2.6m
4	倉吉市上灘公民館	上灘町	4.9m
5	倉吉交流プラザ	駄経寺町	5.4m
6	倉吉市成徳公民館	住吉町	4.7m
7	倉吉市役所第2庁舎	堺町2丁目	5.8m
8	倉吉市役所北庁舎	東町	2.2m
9	倉吉市明倫公民館	福吉町2丁目	2.8m
10	倉吉市社公民館	国分寺	2.0m
11	倉吉市高城公民館	上福田	1.9m
12	倉吉市小鴨公民館	中河原	0.6m
13	倉吉市上小鴨公民館	上古川	1.5m
14	倉吉市役所関金庁舎	関金町大鳥居	1.3m

5m以上
 3m以上5m未満
 3m未満

